

フィーダー交通ネットワークの あり方について

平成27年3月17日
沖縄県

1. フィーダー交通ネットワークの検討について

➤ フィーダー交通とは？

- ・フィーダー交通とは、幹線（ここでは鉄軌道を指す）と接続して支線の役割をもって運行されるLRTやBRT、路線バス等をいう。

➤ フィーダー交通の検討の必要性

- ・公共交通の利便性を向上させるためには、鉄軌道だけでは不十分であり、鉄軌道と結節するフィーダー交通ネットワークを構築することにより、鉄軌道を含めた公共交通全体の利用促進が期待される。
- ・そのため本島を縦断し、広域移動を支える基幹軸となる鉄軌道と併せて、フィーダー交通として、LRT、基幹バス等が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けて検討を行うこととしている。

➤ フィーダー交通はいつ検討するのか？

- ・フィーダー交通は、鉄軌道等との結節を考慮しながらネットワークを一体的に検討する必要があることから、対策案として鉄軌道等の基幹軸を設定した後に、各案毎にルート設定を行うものとする。
- ・そのため、フィーダー交通ネットワークについては、対策案について検討を行うSTEP 3から検討を行うものとする。

➤ フィーダー交通はどのように検討するのか？

- ・フィーダー路線については、現在のバス利用状況、沿線の人口集積状況や土地利用状況、市町村のまちづくり計画等を踏まえ検討を行うものとする。

参考：イメージ図

利便性の高い公共交通ネットワーク
イメージ図
(沖縄県総合交通体系基本計画より)



内閣府調査
モデル ルート図

